

問う

令和3年12月1日、2日、3日に開会した第4回定例会で代表・一般質問を行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、区政全般について、各会派を代表して5名の議員が代表質問を、各会派及び無会派の6名の議員が一般質問を行いました。

以下、その要旨を掲載します。

なお、2次元バーコードから各質問者の録画映像をご覧になれます。

足立区議会自由民主党

輝けるまちづくり!!誰もが

住み続けたいと思う足立区へ

自由民主党 かねだ 正 議員



「元気が出る予算」とは?

【問】令和4年度行財政運営方針では、コロナ禍で厳しい状況にある区民へのきめ細やかな支援を掲げている。予算編成にあたり、区長は「元気が出る予算」にしたいと発言しているが、何を重点に取り組み考えか。

【区長】まず、コロナ禍で生じた様々な部分のひずみを、できる限り早く元の形に戻るように手当てをしていく。区内経済の活性化や活動が滞っている団体の後押しをする一方で、子ども食堂等の活動が盛んになっていくことを契機にNPOを中心とした区内を支える諸団体の活動も応援したい。

その他にも、自治体DX等にも力を入れていく。子育て世帯や障がい者、高齢者等の生活弱者の方々への支援はスピード感を持って国の給付金の支給を行い、足りない部分があれば区として必要かどうか議論していく。

第6波に備え体制を整備すべき

【問】特別定額給付金やワクチン接種の対応は、全庁職員による応援体制で乗り越えたが、新型コロナウイルス感染症の第6波に備え、人員体制を強化すべきではないか。

【政策経営】昨年度の特別定額給付金のような一時的な事務は全庁からの応援体制で臨むのが

基本であるが、ワクチン接種体制等、おおむね1年程度にわたる業務については応援職員による人体制の確保は難しい。令和4年度は、新型コロナウイルスワクチン接種担当課に一定程度職員を定数化を行い、体制の強化を図る予定である。

江北エリアデザインの進捗は

【問】東京女子医科大学附属足立医療センターのオープンは、江北エリアのまちづくりのスタートである。(仮称)江北健康づくりセンター、高野小学校跡地上沼田東公園創出用地の活用等を含めた江北エリアデザイン計画の進捗状況を伺う。

【エリア】(仮称)江北健康づくりセンターは設計が完了し、来年度、建設に着手する予定である。高野小学校跡地は多目的広場として準備を進めている。上沼田東公園創出用地も公園と一体的な運営が可能なパークPFIの手法を念頭に、近々関係事業者にヒアリングする予定である。その他、東京女子医科大学附属足立医療センター周辺整備は、ほぼ予定どおり進んでいる。

開院後も利便性の向上に努めよ

【問】東京女子医科大学附属足立医療センターの開院に伴い、多くのバス路線が新設・変更さ

れた。開院後もバス事業者と連携し、東西方向の新たなバスルートや増便等の検討を継続してもらいたいと思うか。

【都市建設】開院後の令和4年4月以降に来院者の居住地域や交通手段等の調査を行う。利用実態を確認した上で新たなバスルートや増便について、バス事業者と連携し検討する。

西新井駅前の変化に期待!

【問】西新井駅西口南地区は、交通広場が整備されれば、多くの人が行き来する駅前の顔となるエリアである。商業店舗等への変化を期待するが、どのようなまちづくりを進めるのか。

早急に区内経済支援の実行を

【問】長期間に及ぶコロナ禍で区内経済への影響は計り知れない。令和4年度予算の施策展開は年度中頃の実行になるが、区内経済の状況を勘案すると、早急に区内経済を支援する必要があるのではないか。

「産業経済」より多くの事業者と区民が早急に元気になる企業が必要と考えている。今定例会で提出する補正予算案が可決されれば直ちに作業に着手し、令和4年4月には区内経済支援策を実行していく。

高齢者福祉事業の充実を

【問】高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう高齢者福祉事業を充実させるべきである。老人クラブは、コロナ禍で活動自粛を余儀なくさ

れたが、ウイズコロナやアフターコロナに向け、コロナ禍前の活動に戻していく必要がある。足立区友愛クラブ連合会や各地域の単位老人クラブへの助成を充実し、積極的な活動支援を行うべきではないか。

【福祉】友愛クラブ連合会が実施する各種行事や各地域の単位老人クラブが行う活動は、フレイル予防や地域での見守り活動にも通じると認識している。ウイズコロナやアフターコロナの時代にも活動が活発に行われるよう、助成金の増額等による支援を検討する。

出張理美容サービスの回数増を

【問】現在、要介護3以上で、寝たきりのために外出して調整等が困難な高齢者に対し、年3回の出張理美容サービスが実施されているが、4カ月に1回しかサービスを利用できない。他区では、年間のサービス回数がさらに多いと聞いている。利用回数の増を図るべきではないか。

【福祉】当区の理美容組合からは、「衛生面を考えると2カ月に1回は散髪を行いたい。回数増が実現すれば、本人はもちろん介護する側も手入れがしやすいという効果がある」等の意見があったので、出張理美容サービスの利用回数を年3回から6回に増やすことを検討する。



コロナウイルスで疲弊した町会と子供達への支援を。

自由民主党 渡辺 ひであき 議員



地域コミュニティを取り戻せ

【問】コロナ前に戻るために町会・自治会の皆さんの大変さは想像に難いものがある。町会・自治会加入率は、千住本町五町会では特に高い実態があるが、他の町会の加入率低下は著しい現状がある。どのような対策を行っているのか。

【地域】令和3年4月1日現在の区全体の町会・自治会加入率は48・32%であり、千住本町五町会の平均加入率は66・32%と高くなっている。千住本町五町会のように加入率の高い町会の取り組み事例等を情報収集して、結果を周知し、地区町連会長による情報交換会の開催等の対策を図っていく。

【教育指導】足立はばたき塾は塾生の声をもとに、国語・数学・英語の3教科に加え、希望者には理科・社会の2教科も受講可能としたほか、学力別から志望校別を中心としたクラス編成に変更する等の改善を重ねてきた。数学チャレンジ講座も、A・I・D・R活用型の校内補習事業に転換する等、個に応じた学習機会の提供と充実につなげる。

タブレットに慣れる仕組みを

【問】GIGAスクール構想で配備したタブレット端末を活用した学習環境の整備に向け、子どもたちがタブレット端末に慣れる仕組みが重要である。通学後や帰宅後のタイミングに起動するようなプログラムの構築等工夫が求められるが、現時点ではどのように考えているか。

【教育指導】「足立タイピングチャレンジ」の開催や学校ICTの特設ホームページ「あだち学校ICT情報ひろば」で学習ソフトのリンクを充実させる等、



避難所運営の訓練実施を大切に

【問】各地域の避難所運営会議は、この約2年間、ほとんど活動できていない。令和元年の台風19号以降、水害被害を念頭に置いた地域防災計画の見直しを行ったが、一番大切なのは訓練で関係者と運用面の整合性を図ることである。区の見解を伺う。

【総合防災】新型コロナウイルス